

提案名	木住協 ながい木の家モデル 地震に強い設（しつらい）の家	部 門	住宅の新築
提案者	社団法人日本木造住宅産業協会	種 別	システム提案
構 造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅
概 要	木造軸組工法住宅を供給する全国組織による会員企業の中小工務店等を対象とした提案。		

■概 評

点検しやすい高さの床高による維持管理容易性の確保のほか、履歴情報を保管するサポートセンターの設置等による中小工務店の住宅の長寿命化への取組みの誘発など、全国規模での高い波及効果を評価した。

■提案の基本的考え方

- ・外周壁構造を耐力面材による外張り断熱工法とすることにより、万一の大地震後に屋内から住宅の耐力の回復を容易にできる工夫がなされています。
- ・基礎を高くし、根がらみレス空間基礎とヘッダー配管システムの組み合わせにより、住宅のメンテナンス性の向上を図りました。このことにより居住者が自ら確認もしくは点検できることを考慮しております。
- ・社団法人として、住宅の初期性能を維持し超長期に住宅を維持管理するために、居住者と木住協会員をサポートする『木住協超長期住宅センター（サポートセンター）』を設置いたします。居住者と木住協会員と木住協超長期住宅センターの三者が一体となった「三位一体チェックシステム」によって、長期的な維持管理を可能とし、優良な住宅の普及を図ります。
- ・会員である中小工務店が、高耐久性と高耐震性を維持しながら同時に将来の間取りの可変性向上を実現した、木造軸組住宅の供給に取り組みます。

■提案内容

【基本仕様】

①高耐力外張り断熱外周壁

外周壁構造を外張り断熱工法とし、下地に耐力面材を用いることにより、高壁倍率を確保します。大地震など想定される力以上に外力がかかった場合でも、耐力を屋内から回復させることが可能になります。

②耐力壁階段コア

外周壁構造で足りない水平耐力を住宅中央部に設けた階段室及びその周辺の間仕切り壁で負担させることにより、耐震等級3を確保し、間取りの可変性を向上させます。

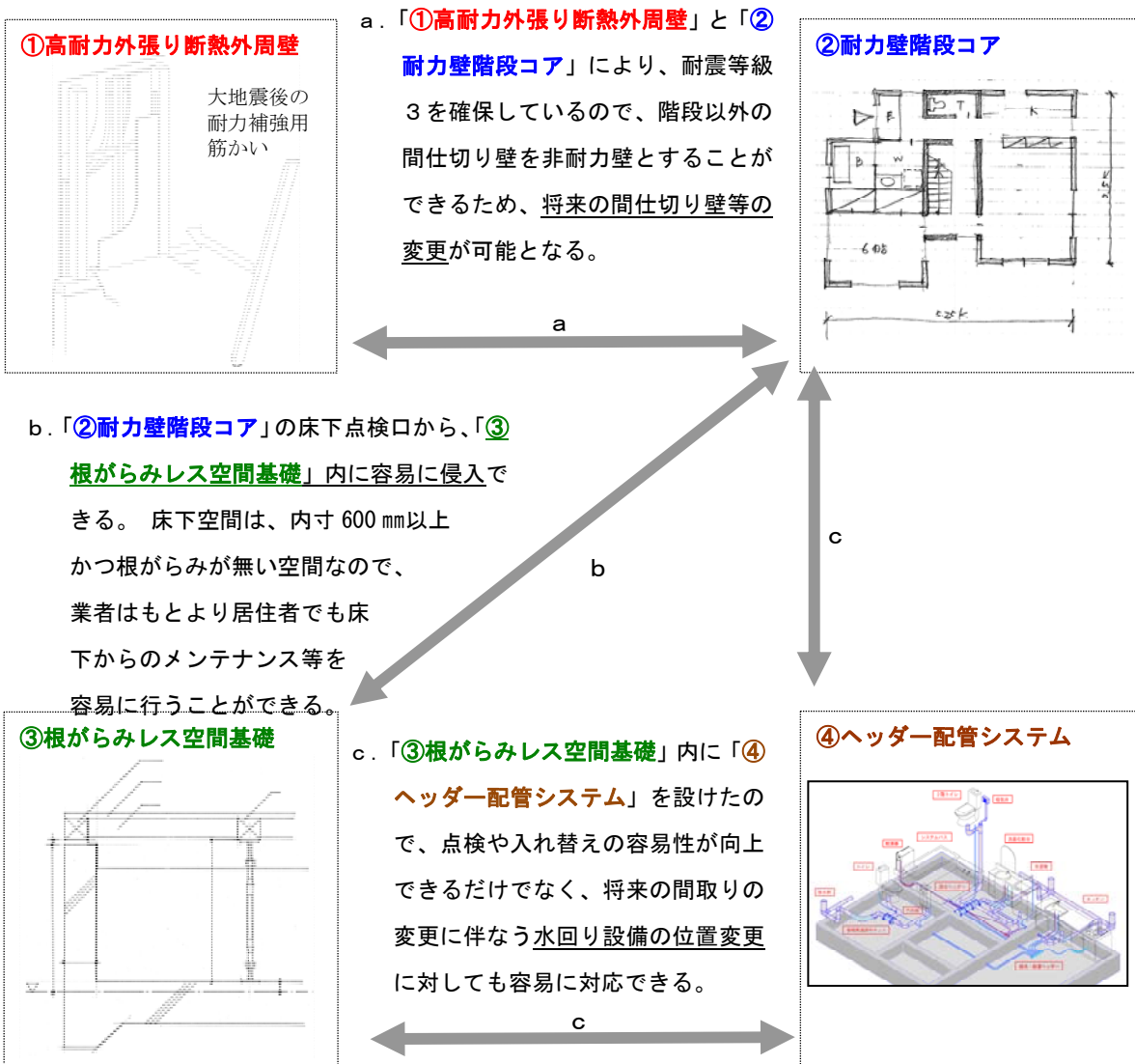
③根がらみレス空間基礎

基礎の内寸高さを確保し、根がらみのない鋼製束とします。また、床下に容易に入れるように、階段室の床に床下点検口を設けることにより、床下空間でのメンテナンス性を向上させます。

④ヘッダー配管システム

床下の給水・給湯・排水配管にヘッダー配管システムを採用することにより、設備配管のメンテナンス性を高め、間取りの可変性を向上させます。

木住協 ながい木の家モデル 地震に強い設（しつらい）の家<以下木住協モデルという>は、今4つの基本仕様を取り入れ、お互いの相乗効果により長期に渡る性能の確保を図ったものです。



**【維持管理について】**

**①三位一体チェックシステム**

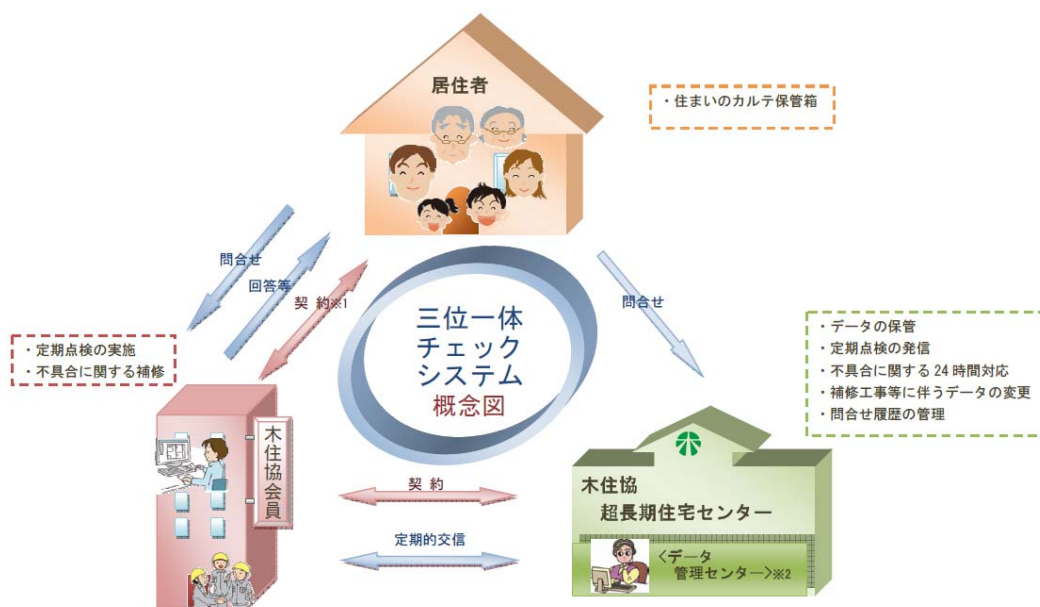
居住者3世代以上にわたり住宅の維持管理を継続するため、木住協の中に木住協超長期住宅センターと木住協会員、居住者で構成される維持管理システムを構築します。

**②超長期的な維持管理計画**

木住協オリジナルの「長期維持管理計画」「維持管理ガイドライン」を作成し、これらに基づいて、居住者の参加を促しながら定期的なメンテナンスを行い、「記録シート」として木住協超長期住宅センターおよび木住協会員で管理することにより、長期にわたり計画的な住宅の維持管理を継続します。

**③住まいのカルテ保管箱**

記録シートと住まいのカルテチェックリストなどを入れる「住まいのカルテ保管箱」を設け、日用品等と区別しやすい床下空間などに保管することにより、長期にわたって住宅の性能や履歴情報を継承します。



## ■提案者からのコメント

### 【開発の経緯】

木住協モデルは、本年5月より協会会員によるワーキンググループで検討し、会員である中小工務店がより使いやすく普及しやすいように、開発をおこなってまいりました。共同提案者（当初43社、追加見込み有）と一緒に取り組んでまいります。

### 【普及啓発について】

- ①全国各地の木住協モデル事業共同提案者が建設中の物件において現場見学会を実施します。（超長期住宅先導的モデル事業の該当物件であることが判るようにします）
- ②木住協ホームページにモデル事業によって建てられた物件の情報掲載をおこないます。
- ③モデル事業の事例発表会や木住協が発行する機関誌「木芽」に情報掲載することにより他の木住協会員への超長期住宅に対する理解と関心を高めます